

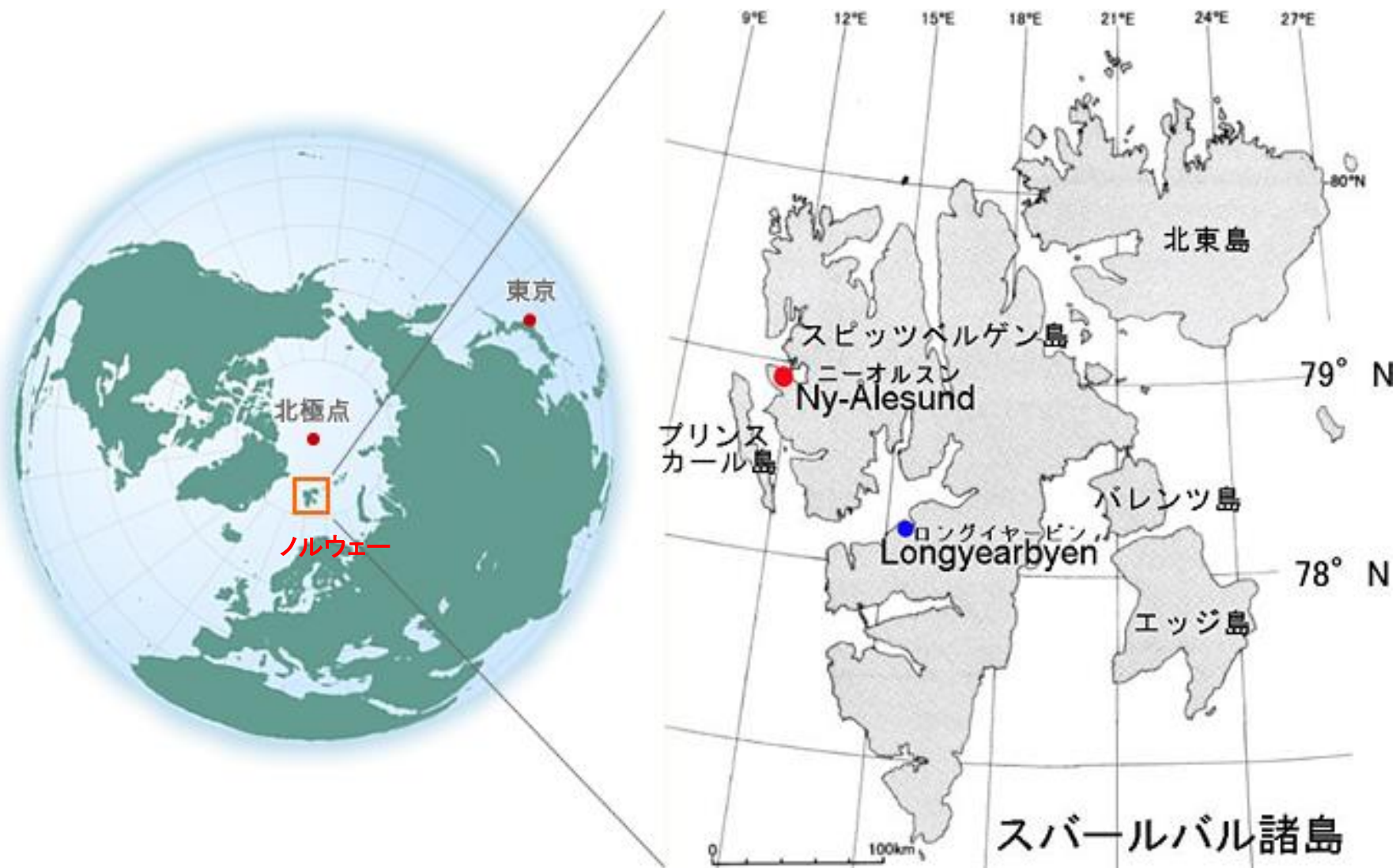
平成28年10月18日
北極のフロンティアについて考える議員連盟(第8回)総会

国立極地研究所ニールスン基地 開設25周年記念国際ワークショップ 参加報告

平成28年9月5日(月)～11日(日)

北極のフロンティアについて考える議員連盟 会長 鈴木 俊一
幹事長 上川 陽子

■ ニーオルスン基地



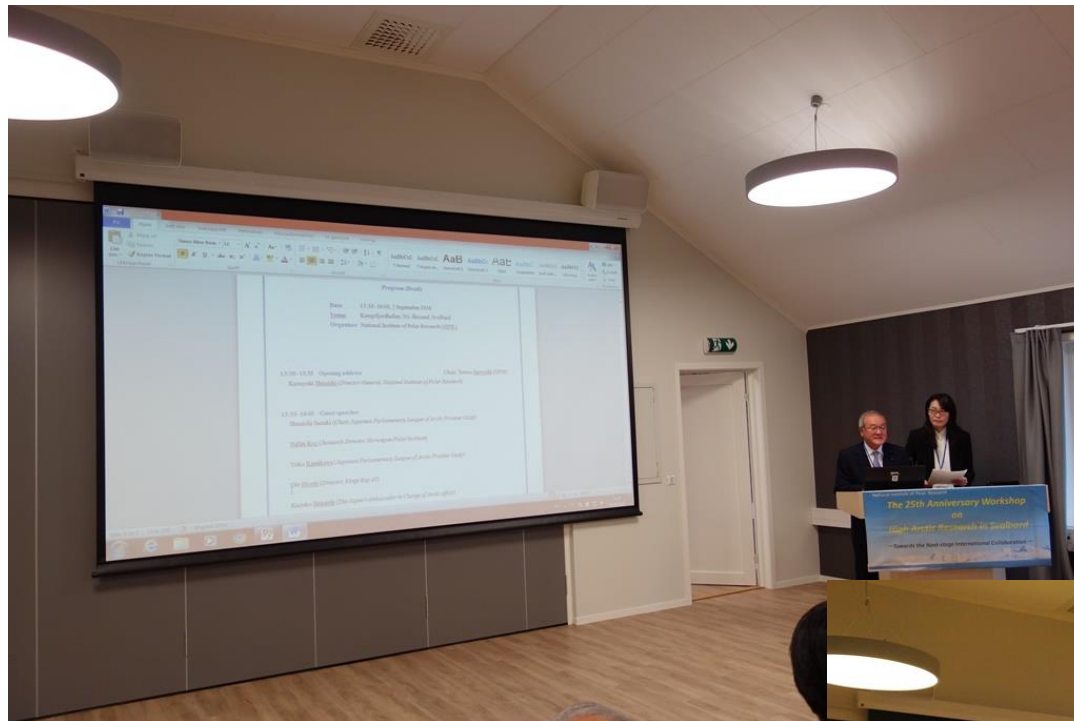
上空からみたニーオルスン観測村



ニーオルスン観測村中心部

国立極地研ニーオルスン基地

基地開設25周年記念国際ワークショップ(1)



- ・9月7日(水)13:30～
- ・ノルウェー極地研研究部長、キングスベイ社ディレクター、各国基地関係者等約70人が出席



基地開設25周年記念国際ワークショップ(2)



「我々『北極のフロンティアを考える議員連盟』としても、日本の強みである科学技術を活かし、北極圏の諸課題の解決に今以上に積極的に貢献できるよう、引き続き最大限支援していきたい。」



「今後、これまでの25年に及ぶ研究・観測及び国際連携の経験をさらに活かして、本観測拠点における研究・観測が継続され、北極圏が直面する諸課題の解決に貢献するとともに、その科学的成果をステークホルダーに適切に発信されていくことを期待する。」

国立極地研究所ニールスン基地



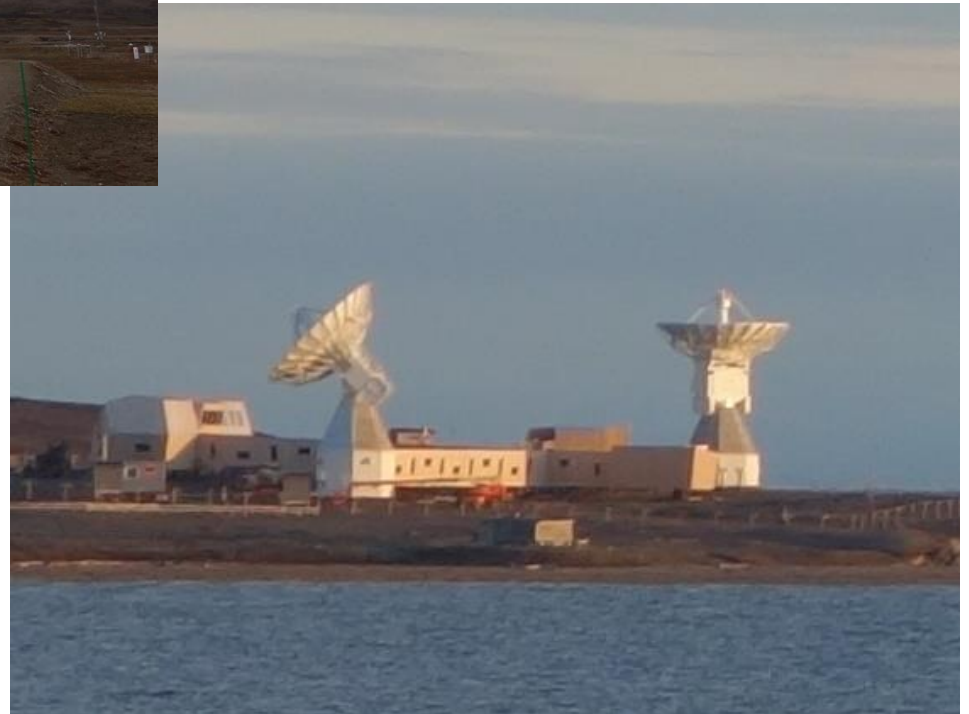
- ・平成3年(1991年)開設
- ・気象(雲)観測、
温室効果ガスモニタリング、
陸上生態系変動研究
などを実施。



各国の観測基地(1)



ノルウェー基地



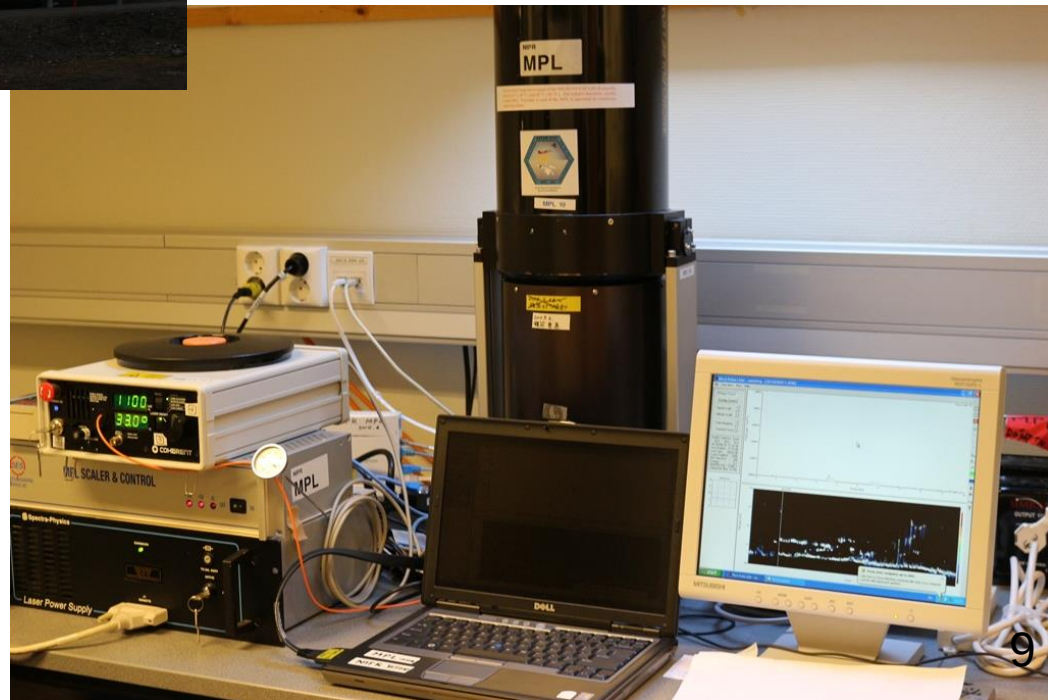
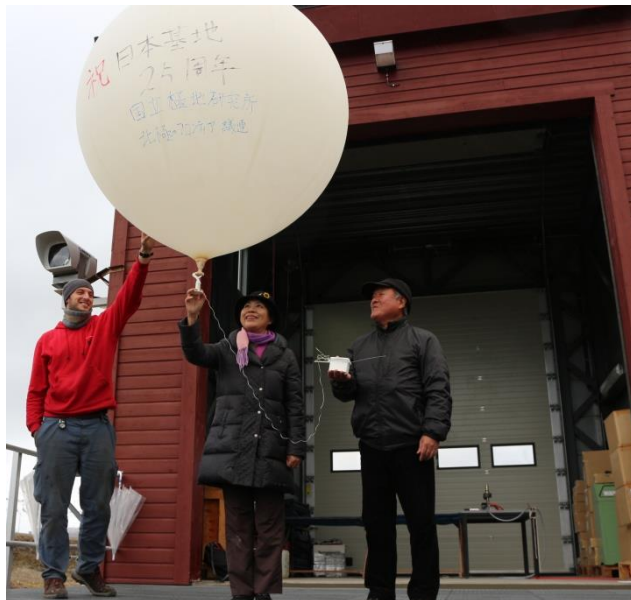
・ノルウェーのマッピング・オーソリティ
(日本の国土地理院に相当)が建設中の
VLBI(超長基線電波干渉法)観測アンテナ

各国の観測基地(2)

ドイツ・フランス 合同基地

- ・国立極地研所有の観測機器を設置し、エアロゾルの共同観測を実施

(ドイツ基地に設置中の極地研所有の観測機器)



各国の観測基地(3)

イタリア基地



中国基地(中央)、韓国基地(右)、
観測村管理棟(左)



日本基地の移転先候補地



国旗掲揚ポール(中央)と温室(中央やや右)あたりの空き地が
日本基地移転候補地

観測状況視察(1)



大気観測に影響を与えないため
1990年代から電気自動車を使用

大気観測施設(観測村周辺部)



観測状況視察(2)



野生動物(ホッキョクグマ、トナカイ等)が出没するため、観測村中心部を離れたフィールド観測の際はライフルを携行したキングス・ベイ社職員が同行

観測状況視察(3)



マリンラボ(海洋観測施設)

- ・海水を引き込んだ水槽、実験室などを有する

調査船

- ・船長＋6名乗船可能



観測状況視察(4)



調査船から氷河の融解状況等を視察



観測状況視察(5)

EISCAT(欧州非干渉散乱)レーダー(ロングイヤービン)



・極域における、大気圏、電離圏、磁気圏の観測を実施

